2015年の戦後・被爆70周年に向けて、世界をOWABIして歩き、HIBAKUSHAの思いを伝えます。

◆2012年７月～2013年３月に写真が展示された様々なイベントをご紹介します◆

◆311から未来へ　見て聞いて味わうライブ講演＆写真展

つぶつぶマザーたちが各地で開催

≪開催地≫
カッコ内は実行委員長

東京都中野区（河井美香さん）
ポレポレ坐
神奈川県相模原市（早川直美さん）
藤野芸術の家
山梨県甲府市（宮川昌代さん）
自然食品有機村
山梨県JA会館
熊本県熊本市（下田真弓さん）
市民会館崇城大学ホール
熊本県立劇場
宮崎県日向市・延岡市（荒木沙弥香さん）
JA日向会館
カルチャープラザのべおか
埼玉県小川町（岩崎信子さん）
パトリアおがわ・県内の高校
小川町立図書館
静岡県焼津市（寺本由希子さん）
焼津文化センター

左から時計回りに、ゆみこさん、橋本さん、荒木さん、下田さん

森下（左）と宮川さん

ステージで父と娘が共演

つぶつぶ（雑穀のこと）を使った料理や暮らし方を各地に広げようと活動しているつぶつぶマザーらが、全国七ヵ所で「311から未来へ　見て聞いて味わうライブ講演＆写真展」を開催しました。

各地のリーダーはいずれも女性。その奮闘ぶりに私たちも勇気づけられました。

折鶴の世界地図（焼津市）

福島を伝える高校での授業とハトのメッセージ（小川町）

各地の講演会では、つぶつぶグランマ・暮らしの冒険家のゆみこさんが、体に備わっている治癒力を高める食と心について、自然医学放射線防護情報室代表・橋本俊彦さんが福島の現状やからだの手入れについて講演し、世界ヒバクシャ展代表の森下美歩は、写真を紹介しながらおわびのメッセージを伝えました。

小川町では、世界ヒバクシャ展の活動中断後、長らく病気療養中の森下一徹も参加して、撮影した被爆者のエピソードなどを伝えました。

ラオスのお寺に頼れる助っ人

（写真上から）通訳をしてくれたメリさん（左端）。フィリピンのコラソンさん（左）。竹の束とトゥーラさん（左）。

十月にラオスのビエンチャンで開催されたアジア・ヨーロッパ・ピープルズ・フォーラムに参加し、写真展をしてきました。

出発前には室内に十分な展示スペースが確保されているという話でしたが、会場に到着したら、なんと展示場所は屋外のテント村に変更されていました。

壁のないテント一張りがあるだけで、どうやって写真を展示したものかと途方にくれましたが、気を取り直して街に資材を調達に出かけました。

途中、腹ごしらえに立ち寄った屋台のあるお寺で目に留まったのが、木に立てかけた竹の束。お寺に住みながら大学に通うトゥーラさんに、借りられないか尋ねたら、許可を取ってくれたうえに、ラオスの三輪タクシー、トゥクトゥクに積んで会場まで運び、テントへの取り付けまで手伝ってくれました。そして、炎天下、竹竿とビニールひもと洗濯バサミで、写真を干すように展示しました。

アジア・ヨーロッパ・ピープルズ・フォーラムで展示

トゥーラさんは日本語を学ぶ好青年で、私たちといろいろ話すのを楽しんでくれました。

フォーラムでは、アジアやヨーロッパで反核や脱原発に活躍する人たちと出会うことができました。被爆七十周年に向けて、各国での写真展の話を進めていきます。

◆主催イベント　世界ヒバクシャ展@ポレポレ坐～写真展＆トークイベント

ボランティアの辻村さん（左）と日色さん。下は田島さん。

活動再開後初めての本格的な写真展を七月から八月にかけて、東京・東中野のポレポレ坐で開催しました。

あなたは知っていますか？韓国・朝鮮人被爆者＆海洋の放射能汚染と題したフォトジャーナリストの伊藤孝司さんと寓話作家で国際識字文化センター代表の田島伸二さんのトーク、『アレクセイと泉』の世界と題した、女優の日色ともゑさんの朗読、写真家で映画監督の本橋成一さんとのトークなどを行いました。

韓国・朝鮮人被爆者について語る伊藤さん（左）と子どもにサインする本橋さん

多くの人と出会った素敵な時間

鈴木淳子さん

みつばちの羽音と地球の回転上映会
埼玉県・草加市中央公民館

十月に「みつばちの羽音と地球の回転」の上映会に合わせて「世界ヒバクシャ展」を開催した埼玉県草加市の鈴木淳子さんは「写真を見た時には、自分がとても無知だったことに気がつきました。ぜひ上映会の時にたくさんの方に写真を見てもらい、核のことを知っていただきたい、と思いました」と、本番までの六ヵ月、仲間と何度も話し合いを重ね、多くの人に会って、話を聞き、情報を伝えました。

鈴木さんは「会った人にとても親しみを感じたり、言葉からにじみ出る真剣さや体験からの話が体を通して刺激になったりして、自分を正していく意味でとても素敵な時間でした」と、イベントの開催に取り組む意義を語ってくださいました。

◆イベントでの展示

平和旬間の集い
神奈川県藤沢市・藤沢カトリック教会

平和のための写真・資料展　東京都・目黒区総合庁舎

頭部だけが残った被爆地蔵（左側）

広島被爆子育て地蔵尊及び被爆物故者供養会　東京都目黒区・常圓寺　被爆者の小西さん（（左）と

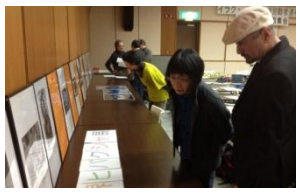
鎌倉駅地下道ギャラリー50
神奈川県鎌倉市

アウシュヴィッツ平和博物館
福島県白河市

えこの庵
埼玉県戸田市

「to　Pu」「ある日の風景～青森県大間原発予定地内『あさこはうす』にて」（清水さち子撮影）写真展
東京都目黒区・世界ヒバクシャ展臨時ギャラリー

ヒバクシャの思いを各地へ


イラク・バスラ石油労働者連帯！全国ツアー　東京都文京区・全水道会館

いのちの祭り　静岡県富士宮市・朝霧高原

ピースフェスティバル2012　神奈川県横須賀市・三笠公園

「はだしのゲンが見たヒロシマ」上映会　横浜市社会福祉センター

憲法・原発―改めて民主主義を考える！
東京都港区、梅窓院

♥沖縄@辺野古・高江・普天間　東京都新宿区・カトリック麹町教会

311メモリアルアクション～原発のない福井へ　福井市・フェニックスプラザ

NO NUKES!! SAVE JAPAN!!
東京都新宿区・新宿ACB

イラクテン
東京都新宿区・早稲田大学

原発止めよう群馬カフェ・スロータイムでも写真展　群馬県高崎市

◆写真展

2015年に向けた活動内容を話し合うワークショップ。スタッフなどの参加者に写真集の被爆者について語る顧問の森下一徹。

理事の上條恒彦さんのナレーションによる写真紹介映像を制作しました。

着実に広がる輪

本格的な活動再開一年目の世界ヒバクシャ展は、全国各地のイベント主催者、六人の写真家や多くのボランティアに支えられて、国内各地や海外で、様々なスタイルで写真を紹介することができました。

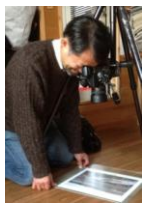
この経験を土台に二〇一三年度は、新しいステージに踏み出していきます。引き続き、ご協力をお願いいたします。

天岩戸神社で天照大神と平和のはなし。

（左から）第五福竜丸展示館館長の安田和也さん、被団協事務局長の田中熙巳さん、写真家の豊﨑博光さん、と代表の森下美歩

経産省前テントの中でウィーン大学生に写真を紹介

左から、ボランティアの岩崎さん、清水さん、翻訳ボランティアのスコットさん、アートディレクターの千原さん



風下の村にサインする森住卓さん。左は、森住さんの指導の下、世界ヒバクシャ展の写真を複写しデータ化する事務局長の安在

皆さん、ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。